

令和５年度 特別の教育課程（書道科）の実施状況等について

押沢台小学校

1. 本校の教育目標

充実した学校生活を通して児童の個性と創造性を伸ばし、知・徳・体の調和がとれた人間形成を図るとともに、「生きる力」を育み、社会の変化に主体的に対応できる活力のある人間を形成する。

【教育目標】 すすんで学び、深く考える子
体をきたえ、がんばる子
明るく、思いやりのある子

2. 特別の教育課程の内容

（１）特別の教育課程の概要

小学校第１～６学年において新教科「書道科」を新設する。第１学年は、国語を３０時間、生活科を４時間削減して新教科に充て、第２学年は、国語を３０時間、生活科を５時間削減して新教科に充てる。第３～６学年は、国語を３０時間、総合的な学習の時間を５時間削減して新教科に充てる。「書道科」において、書を書くという具体的な活動を通し、友だちと触れ合ったり、家庭生活での話題をもたらしたり、地域の人々とのかかわりを生んだりする。そこから、集団の中での自分の役割や行動の仕方を考えさせるとともに、「書のまち」に生きるよさと愛着をもたせる。

また、「書道」という伝統文化や「書のまち」を発信する地域の特性を探究する活動にも取り組むことを通して、表現力の向上と向上心の伸長を図るとともに、日本古来の文化や自分の生活する地域を振り返りながら自己の生き方をも考えさせる。

（２）特例の適用期間

平成２８年４月１日～令和１１年３月３１日

（３）実施学年

１年、２年、３年、４年、５年、６年

（４）地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は、三蹟のひとり小野道風の生誕の地と言われており、全国的にも数少ない書専門の美術館小野道風記念館を有し、「書のまち春日井」として、書道の普及発展に力を入れている。特に、小野小学校では、愛知県下児童・生徒席上揮毫大会が昭和１１年から戦争中も途切れることなく開催され、第１回からの優秀作品を保管するなど、愛知県の書道教育の中心的な役割を果たしている。

書道は、「文字を正しく整えて書く」ことにおいて、従前から行われてきた国語科における書写の目的に共通するが、その文化・芸術性及び精神性においては、書写とは一線を引くものである。現在、児童の「表現力の向上」「心の教育の充実」などが重要な教育課題であると認識している。それらを解決するため、前述した地域性や学校の特色、さらには書道の特性を活かした「書道科」を新設し、表現力の向上を目指すとともに、よりよい作品をつくりあげようとする向上心、つく

りあげた達成感から得られる自尊感情、相互評価などの他者との関わりから得られる親切心や規範意識等、特に心の充実を図りたいと考える。また、同時に郷土愛についても、書道を通して「書のまち春日井」に根ざして生活している自覚を促し、育てていく。

(5) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

2に記載する特別の教育課程について、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する小学校等の教育の目標に関する規定等に照らして適切であることを、春日井市教育委員会において確認済。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する評価

(1) 評価の観点

- ① 特別の教育課程の編成・実施により、学校の教育目標が十全に達成されているか
- ② 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標が十全に達成されているか

(2) 自己評価

児童	・講師の先生が、うまく書けないところを目の前でやって見せてくれるので練習に楽しく取り組むことができた。 ・自分の書きたい字を、教科書とは違う雰囲気の子や、自分の気持ちを出しやすいような字で手本を書いてもらえてうれしかった。 ・教えてもらったことを意識して書くと字がうまくなったように思えた。 ・友達の作品を見て、よいところをまねしていこうと思うようになった。 ・講師の先生の時にやった水習字が面白かった。
教員	・講師の指導は、指導書に記述されていないこつや注意点など、分かりやすい言葉で指導していただいた。 ・講師の先生が、児童の要望に対して適切に対処し、いろいろな書体を披露してくださるので、児童の書の表現が多様化していった。 ・自分の書きたい字を意識したり、表現方法にこだわったりして、自分の文字に対する自信をもたせることができたようになった。 ・納得のできる字を書き上げようと、粘り強く取り組む児童が増えてきた。
保護者	・色々な分野(かなや他字数の作品など)に挑戦する機会があって、競技会みたいにならず、のびのび書いているように感じている。観る私たちも楽しかった。 ・子どもたちが講師の先生との授業を楽しみにしているようだった。 ・4月に比べて、作品が整ってきているように感じている。 ・1時間静かに取り組んでいるようで、そういう時間も大切だと思う。

(3) 学校関係者評価

- ・決まった課題を丁寧に書くことも大切だが、一人一人がいろいろな課題に挑戦しようとして、多様な作品が仕上がっていると、その子の思いも伝わりやすい。
- ・現代的な表現方法の作品やかなの作品など、見ていて楽しくなった。
- ・筆による表現に対してか、道具の準備や片付けなのか、何かストレスを感じていて書の授業に関心の向かない児童もいるように思う。

